

読書コンシェルジュの育成及び活動について

栃木県では、高校生の読書推進に向けて、読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」の育成に取り組んでいます。平成26(2014)年度から毎年、県内の高校生世代を対象に募集し、育成研修を修了した方を読書コンシェルジュに任命しています。



任命後は、以下のような活動に取り組んでいます

- ・全国高等学校ビブリオバトル栃木県大会の運営
- ・高校生の読書活動推進に向けた活動計画の作成及び実施
- ・伝えよう！本の魅力コンテストの審査

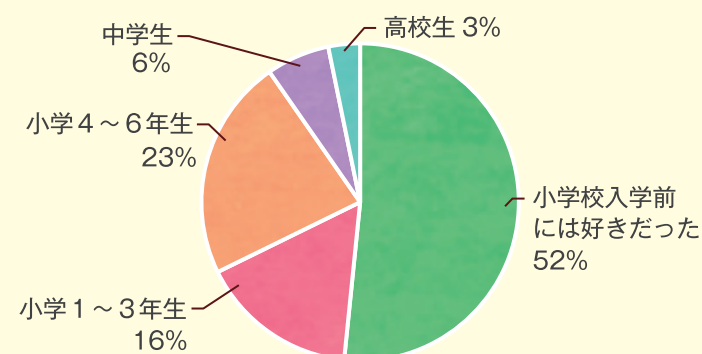
企画会議▶



読書コンシェルジュ対象アンケート結果

(回答者：令和5(2023)年度読書コンシェルジュ及び読書コンシェルジュ経験者)

◆ 何歳くらいから本が好きになりましたか。



◆ 読書が好きになったきっかけ（上位5項目）

- ・家で、家族と一緒に本を読んだこと
- ・書店で本を選んだ／買ったこと
- ・学校の図書館で本を借りた／読んだこと
- ・お気に入りの本に出会えたこと
- ・地域の図書館で本を借りた／読んだこと



読書好きのきっかけは、
子どもの頃の読書体験

◆ 読書の楽しさ、魅力はどんなところですか。

- ・自分の視野を広げられるところ。本によって、考え方や言葉の知識、表現の幅が広がり、日常生活もより鮮やかなものになると思う。
- ・普段の生活では考えられない世界を感じることができる。映像では体験できない、文章の美しさ、楽しさを感じることができる。
- ・人と語り合えるところ。知らない人でも本を読んでいるというつながりで仲良くなれること。

読書の楽しみ方～読書はみんなで楽しめます～

家読（うちどく）

読書を通じて、家族や身近な人とのコミュニケーションを図る取組です。

〔取組例〕

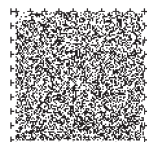
- ・家族で本を読む時間を設ける
- ・自分が読んだ本を家族に紹介する
- ・本の感想を家族で話し合う など

ビブリオバトル

書評合戦とも呼ばれるゲームです。発表者は制限時間内でおすすめの本を紹介し、各発表後に参加者全員でディスカッションを行います。全ての発表が終了した後に、一番読みたくなった本を投票で決めます。

イベントへの参加

図書館、出版社、団体等が主催するイベントは、知らない本に出会える機会です。おはなし会や講演会、おすすめ本を紹介するコンテスト等、本にまつわるイベントに参加してみませんか？



音声コード

4月23日～5月12日はこどもの読書週間、
10月27日～11月9日は読書週間です。

栃木県教育委員会事務局生涯学習課
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 TEL：028-623-3404

栃木県読書活動推進計画

2024—2030



読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていくために欠かすことのできないものであり、家庭や学校、地域など社会全体で読書活動が活性化する環境づくりに取り組んでいくことが極めて重要です。

栃木県教育委員会では、令和6(2024)年3月に「栃木県読書活動推進計画」を策定しました。読書バリアフリー法*も踏まえ、年齢や障害の有無等にかかわらず、全ての県民が生涯にわたって読書に親しむことのできる環境づくりを推進していきます。

*障害の有無に関わらず、全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」が、令和元(2019)年6月に成立しました。

計画全文



読書
コンシェルジュ
HP



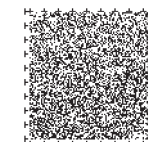
インターネットで栃木県の読書活動の取組が検索できます。

栃木県 読書

検索

音声コード

読み上げ装置にて、
内容を音声で
聞くことができます。



基本目標

全ての県民が生涯にわたって読書に親しむ機会を広げる

方針

読書活動が積極的に行われるためには、①読書活動を行うきっかけがあること、②社会の中で様々な読書活動に触れる機会があること、③読書活動を継続的に行う環境が整っていることが必要と考えられます。そのため、次の3つの方針により全ての県民が読書に親しむことができるよう読書活動の推進に取り組めます。

- 方針1 ライフステージに応じた読書活動の推進
- 方針2 連携・協働による読書活動の推進
- 方針3 読書に親しむ環境づくり



数値目標（指標）

【指標1】
1週間あたり1時間以上読書をする子どもの割合（％）

	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和12年度)
小学生	57.0%	60%
中学生	42.5%	50%
高校生	21.9%	30%

【指標2】
公立図書館と学校の連携事業数（※1）

基準値 (令和4年度)	目標値 (令和12年度)
63 事業	120 事業

※1 各自治体における、公立図書館と学校図書館が連携して実施した事業や、公共図書館が学校図書館支援の一環で実施した事業。「団体貸出」「学校図書館職員研修」「学校訪問おはなし会」等。

【指標3】
県立図書館・とちぎ視聴覚障害者情報センターが主催・協力する、職員等対象の読書バリアフリー（※2）に関する研修・講座の受講者数

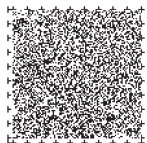
基準値 (※3)	目標値 (令和12年度)
266 人／年	300 人／年 〈令和6～12年度累計〉 2,100 人

※2 読書バリアフリーとは、視覚障害者等の読書環境の整備のこと
※3 令和3年度と令和4年度の実績を基に算出



本計画における「読書」の定義

本を読むことに加え、新聞、雑誌を読むことや、何かを調べるために関係する資料を読むこととします。また、紙に印刷された本だけではなく、電子書籍などの電子資料も含まれます。



音声コード

方針1 ライフステージに応じた読書活動の推進

ライフステージ	乳幼児期	小中学生期	高校生期	成人期
取組	大人から子どもへの働きかけを促す取組	自立した読書を促す取組	読書への関心を高める取組	個々のニーズに対応する取組
読書バリアフリーに関する取組				

ライフステージごとに取組を実施するとともに、ライフステージの区切りを超えた、切れ目のない読書活動の推進を図ります。

さらに、全ての県民が読書活動を行えるよう、読書バリアフリーに関する取組を実施します。

方針2 連携・協働による読書活動の推進

家庭における読書活動の推進

- ・保護者に対する学習機会・啓発資料等の充実

地域における取組の推進

- ・県立図書館における取組の充実
- ・公民館等における読書に親しむ活動の充実
- ・社会教育に関わる施設での取組の推進
- ・読書ボランティア等の活動の充実に向けた支援

学校等における取組の推進

- ・学校における読書活動の取組に対する支援
- ・学校図書館の整備・充実
- ・公立図書館と学校等との連携の推進



子どもの読書活動推進フォーラム



全国高等学校ビブリオバトル栃木県大会
(上から決勝、展示ブースを閲覧する参加者)

方針3 読書に親しむ環境づくり

読書バリアフリーの推進

- ・視覚障害者等による図書館の利用に係る体制の整備
- ・点字等の製作人材・図書館サービス人材の育成等

読書活動推進体制の整備

- ・デジタル技術を活用した読書環境の整備

啓発・普及・広報活動の推進

- ・読書に関するイベント等の情報発信
- ・優れた取組の奨励



伝えよう!本の魅力コンテスト
ポップ部門最優秀賞(左から令和4年度、令和5年度)

音声コード

